

# 印刷タイムス

印刷タイムス株式会社

〒530-0054  
大阪市北区南森町1-1-26 南森町フジビル4階  
電話 06-6311-0281 FAX 06-6311-0288  
東京支局・〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-8-6  
電話 03-5256-0591 FAX 03-5256-0595  
年間購読料 12,000円(税込のみ)  
郵便振替 00940-0-318796

……………2面  
……………2面  
……………3面  
……………3面

6月30日(火曜日)

思いの戦術と実行力で明日を切り開く印刷業界

## 一般社団法人「むらまち結び」が動き出す

# 地方自治体や関連事業の発展活性化を目的に

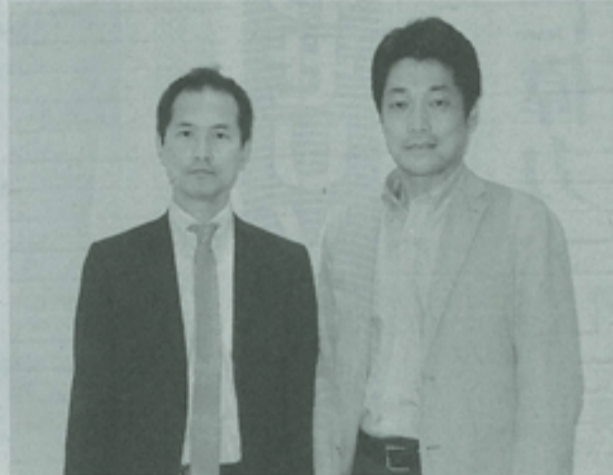
### 千代田区のブランド資源を用いて

### 印刷業の得意分野も活かして

一般社団法人むらまち結び(東京都千代田区、山本久喜代表理事)は、千代田区内及びその周辺に存在するブランド資源を用いて、地方自治体及び関連事業の発展や活性化を図ることを目的として4月1日に設立された。これまで、千代田区産業連合会(商工連)として、人と地域を繋げる活動を展開してきたが、さまざまな表情を持つ千代田区の特長と印刷業の得意分野を活かし、全国の170

### 千代田区のブランドを分析して

千代田区の人口は5万2千人だが、昼間の人口は82万人のビジネスパーソンや学生が通うとともに、日中、千代田区を行き交う多種多様な人々は約300万人といわれている。円安の影響により秋葉原電気街や小川町のスポット店街には多くの訪日客の外国人が見られるようになり、お昼近くになると安くてウマイランチを求め店の貼り紙を食い入るように見る姿が目立つ。外国人旅行者が都内で行きたい街として、秋葉原が4位、丸の内が8位とランキングされている。



左から仲山グループ長プロデューサーと山本社社長

さらに、千代田区には、江戸城の名残を留める皇居、国の中枢となる国会議事堂や政府省庁が集まる霞ヶ関・永田町の他、大企業の集積(上場企業本社数312社)、4大新聞社、出版社の街であり、金融機関、産業の街で

もある。また、国立・私立大学数は16大学(学生数8万5千人)、東京駅の乗降客数は41万人、千代田区内のホテルは帝国ホテル、シヤングリ・ラヤアマン東京など65件が軒を連ねる。

また、電気街とサブカル文化の秋葉原、楽器店街の御茶ノ水の他、江戸の風情が残る神田や、千鳥が淵や靖国神社は日本でも有数の桜の名所として知られ、千代田さくら祭りには全国各地から10

0万人を超える見物客が訪れ、千代田区最大のイベントのひとつとなつている。さくら祭りに対して、千代田の秋まつりは、世界一の神保町古書街の古本まつりや小川町のスポーツ街まつり、神田カレীগランプリなど多様なイベントが大小を問わず、複合的に開催されており、千代田区の秋のイベントウィークの風物詩として例年30万人を超える人が訪れている。

中でも、神田カレীগランプリは昨年で4回目を迎えたが、欧風、インド、タイ、カフェバー、うどんなど多種多様な店舗数は日本最大級。3日間を通じたイベントでカレীগランプリを決定するとともに「神田カレীগランプリ」を2014年を配布し、53店舗の神田カレィを100日間楽しめる食べ歩きスタンプラリーを行い、集めたスタンプ数に応じて抽選で豪華賞品がもらえるイベントで好評を得た。

この他、時期は未定だが、各市町村を千代田区内のクリエイターたちが各市町村のブランドイメージをサポーターとし、コンテンツ形式により参加自治体ごとに優秀賞を表彰し、国内外へのシティブロモーションに繋げていく。

むらまち結びは、千代田区に集まる多くの人々を「千代田モノ(者)」と定義し、「千代田モノ」は「千代田」に通うことを誇りに持ち、楽しんでいく人として、千代田モノの属性を一言でいうと情報高度感である。同時に、「千代田モノ」は情報発信者でもあり、SNSなどを使いリアルタイムで千代田区のブランドを発信している。むらまち結びは地方と「千代田モノ」を結ぶ手段や接点を提供していくことになる。

### むらまち結び設立の経緯と目的

むらまち結びの設立までの経緯は、1984年4月、千代田区内の印刷業、製版業、製本業、軽印刷の組合4団体をはじめ、紙業販売、組織の企業が参加し、千代田区の産業の活性化を推進する目的で千代田区産業連合会を設立し、2005年4月に地域産業の変革に伴い組織改編を行い千代田区商工業連合会(商工連)に改名する。2015年3月現在、参加企業数は136社。

2005年より、地域活性化事業に注力し、同年千代田さくら祭り、2010年より千代田の秋まつりなど各種のイベントに企画し、2011年から神田カレীগランプリの企画を運営する。

さらに、2013年商工連の部会として、千代田ブランド委員会(地方創生支援委員会)を発足、商工連の基本方針である「人と地域をつなげる力」を具現化させるため、千代田区の地域資源調査ならびに解析を開始する。

2015年4月、千代田区の地域資源を活かして、日本全国の各市町村と相互補完的な活性化施策の実施を検討するため「むらまち結び」を開催していき、各市町村の自治体や地方事業者との関係づくりも

### 定期的な情報発信「市」を開催

今後の活動として、むらまち結びの所在地である千代田区飯田橋

の「ii-Bridge e(イイブリッジ)」で定期的な情報発信「市」を開催していき、各市町村の自治体や地方事業者との関係づくりも